

こうほう ショッキング

Vol.92

Kōhō shocking



まつむらかつとし
松村勝利さん

●プロフィール

49歳。美津島町雞知出身、在住。対馬高校卒業後、一度は都会に住みたいという憧れから福岡へ。バイト生活を経験したのち帰郷し、市内の会社に勤める。現在、博多海陸に勤務。唯一の趣味は、中学生から弾き始めたギター演奏。時折、福岡のライブハウスなどで演奏の機会を得る一方、そこから繋がりを得たミュージシャンを対馬に呼び、コンサートを企画する。来年1月28日、福岡から女性シンガー「赤い靴」を招き、厳原町のどげえ市でライブを計画している。

○音楽との出会いは？

小学校の高学年の頃から音楽を聴くのが好きでした。兄がレコードをたくさん持っていましたし、その頃は音楽番組もたくさんありましたから、聴く機会には恵まれていましたね。自分で最初に買ったレコードは「およげたいやきくん」(笑)。ムトウ楽器で購入しました。ギターに興味を持ったのは、中学生の時。兄の部屋にあったアコースティックギターに触ってみたのがきっかけでした。兄のビートルズのレコードを聴き「夜のヒットスタジオ」を食い入るように見ていました。当時はVHSよりも前にあった、でっかいビデオデッキに録画してね。自分のギターを購入したのは、中学3年の時。少年サンデーの後ろに載った通信販売のページから、エレキギターの派手なのを購入しました。

○そこから音楽活動がスタートしたわけですね。

洋楽のミュージシャンを真似したくて、高校でギター部に入り、活動を始めました。部室から音が漏れないように窓を閉め、暑い中汗だくでギターを弾いていました。現在はギター部も廃部になってしまってますが、あ

つたら行って指導したかったですね。寂しいですね。

○イベントの企画も手掛けていらっしゃるようですが。

以前から糸島(福岡県)のサセットライブによく行ってたんですが、その出演者でイベント企画も手掛ける方と連絡を取るようになったんです。対馬には音楽グループも、音楽イベントも少ない。音楽を通して得られる感動や湧き上がるような思いを、僕の中で留めておくのはもったいない。対馬に来てくれないだろうか、と思うようになって。個人でイベントを企画するのはもちろん大変で、どれだけ人が来てくれるかと考えると毎回プレッシャーです。でも、音楽好き、ギター好き、口ツク好きな子がドキドキするよなライブ感を対馬でも味わわせてあげたいんです。ギターを独学で学ぶのには限界がありますから、みんながしてきたように先輩のプレーを盗む機会を作ってあげたい。赤字でも構わないから続けてあげたいんです。イベントを企画しているんなミュージシャンと繋がることで、新しい人を紹介してもらって、また新たな繋がりができる。これって出会いから得た宝物。財

産だなあと思っていますね。

○これからの抱負は？

何か面白いイベントがやりたいですね。音楽プラス何か。福岡では大通りを通行止めにして、音楽イベントと一緒にファッションショーや大道芸を盛り込んだりと、やってみることが大きいんです。予算や人手、島の気質もあるかもしれませんが、ワクワクする何かがしたい。それと、やっぱり音楽で上を目指す若者がもっと出てきてほしいですね。生きのいい、若い素材を発掘していかなきゃと思います。また、音楽を聴くのが好きな人を掘り起こし、もっと多くの人と音楽を通して楽しみたいんです。今は自分が演奏するよりも、良い音楽を届けたいという思いの方が強くて、人を呼んでプロデュースすることにやりがいを感じています。僕は1年に一度くらい、ゲストでちよろつと弾くくらいで良いかな(笑)。ま、もうちよつと頑張ってみます。

毎回、登場して下さった方、次の方をご紹介いただくコーナー。今回は対馬活性化ユニット「ずんだれ」です。お楽しみに。